

2024(令和6)年度

総合型選抜(AO)
入学者選抜要項

システムデザイン工学部・未来科学部・工学部・理工学部

TDU 東京電機大学

目次

大学【学士課程】のアドミッションポリシー	1
総合型選抜(AO)のアドミッションポリシー(各学部別)	1
1. 募集人員.....	5
2. 選考日程等	5
3. 出願資格.....	6
4. 第1次選考の出願について.....	8
5. 第1次提出課題.....	13
6. 文献引用の記載例	17
7. 第1次選考	18
8. 第1次選考合格発表.....	18
9. 第2次選考の出願について	18
10. 第2次選考.....	20
11. 受験に際しての注意事項.....	24
12. 最終合格発表	25
13. 入学手続について	25
14. 入学手続金.....	26
15. 第2年次以降の学費について.....	27
16. 入学前教育の実施について	28
17. 入学後に使用するパソコンについて	28
18. その他.....	29

巻末

- ・インターネット出願の手引き
- ・合否照会の方法
- ・入学手続の方法

大学【学士課程】のアドミッションポリシー

東京電機大学は、工学・理学・情報分野における科学技術に興味を持ち、志望する各学部・学科(学系)の教育方針やカリキュラム、研究の内容、求める学生像を十分理解し、本学の教育・研究理念である「技術は人なり」の精神のもと、卒業後、自立した科学技術者として社会への貢献を目指す学生を求めます。

なお、本学では、各学部・学科(学系)のアドミッション・ポリシーを踏まえて、高等学校等の課程や実社会で学んだ以下の学力の3要素を総合的・多面的に評価するため、多種多様な入学者選抜を実施し入学者を受け入れています。

- 1 高等学校等の課程で学ぶ知識・技能(特に外国語、数学、理科、国語など)
- 2 思考力・判断力・表現力等の能力
- 3 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

総合型選抜(AO)のアドミッションポリシー(各学部別)

システムデザイン工学部

総合型選抜(AO(アドミッション・オフィス))は、本学部入学に強い意欲のある学生を積極的に募集するものです。

選考は、選考委員による書類選考と個別面接(プレゼンテーション、口頭試問)を実施し、総合的に評価します。この制度では受験生の人間性や入学後の可能性を探り、また今までひたむきに打ち込んできた活動経験や学習内容を、総合的かつ多面的に評価する全人評価の入学者選抜です。

システムデザイン工学部のアドミッションポリシー(求める人物像)

システムデザイン工学部では、社会環境の変化と科学技術の革新に対応でき、グローバルな環境で社会が真に必要とするイノベーションを引き起こせる専門技術者を育成します。この本学部の教育理念を十分に理解し、本学部を志望する理由が明確であり、本学部で学ぶにふさわしい基礎学力と活動経験を有している学生を受け入れます。

<情報システム工学科>

システムデザイン工学部のアドミッションポリシーに加え、コンピュータ・ネットワーク・データサイエンスに強い関心を有し、そのような分野での顕著な活動経験(各種コンクールやコンテストで入賞等)がある人。あるいはプログラムの作成経験があり高く評価されている人、優れた公的資格(情報処理、英語検定、数学検定、通信技術等)を有する人。

<デザイン工学科>

システムデザイン工学部のアドミッションポリシーに加え、工学と人間・社会科学領域の多様な分野に関心を有し、ひとの魅力的な生活空間の創造に必要なモノ・サービス・空間のデザインについて、もの作り等の顕著な活動経験(各種コンクールやコンテストで入賞等)または実現したい革新的アイデアがある人。あるいはもの作りの作品に対して高く評価されている人、優れた公的資格(情報処理、英語検定、数学検定等)を有する人。

未来科学部

総合型選抜(AO(アドミッション・オフィス))は、本学部への入学を第一志望とし、勉学意欲のある学生を積極的に募集するものです。

選考方法については、第1次選考として書類による選考、第2次選考は選考委員による個別面接や志願者自身によるプレゼンテーションを実施し、総合的に評価します。

この制度では面接、プレゼンテーションを通じ本人の適性を重視し、今までの学力試験だけでははかれなかった受験生の人間性や入学後の可能性を探り、また今までひたむきに打ち込んできた活動経験や学習内容を、総合的かつ多面的に評価する全人評価の入学者選抜です。

未来科学部のアドミッションポリシー(求める人物像)

未来科学部のモットー「プロの能力、豊かな教養」に強い共感を持ち、未来科学部を志望する固有の理由があること。また、本学部において学びたいことを明確に持っており、学習意欲が高いこと。さらに、各学科の求める人材像に合致していること。

<建築学科>

未来科学部のアドミッションポリシーに合致することに加え、地域や建築にまつわるデザイン・文化・技術などに幅広く興味を持ち、将来建築分野で活躍したいと考えている人。さらに、次のいずれかを満たすこと。

1. 地域や建築に関連した「実績」または「自ら主張できる能力」を有すること。
2. 地域や建築に関連した「顕著な活動経験*」または「優れた公的資格**」を有すること。

*各種設計競技会(コンペ)出場や、社会活動参加など

**難度の高い資格(インテリアコーディネーターや測量士等)や建築物の計画・設計・施工・運用に関連する資格(建築CAD検定試験等)など

<情報メディア学科>

未来科学部のアドミッションポリシーに加え、情報処理やメディア処理に関して強い関心を有する人。さらに、次のいずれかを満たすこと。

1. 情報処理やメディア処理の分野ですでに資質を発揮しつつある人
2. プログラムやデジタルコンテンツの作成経験があり、周りから高く評価されている人

<ロボット・メカトロニクス学科>

未来科学部のアドミッションポリシーに加え、機械・電気電子・情報・制御からなるメカトロニクス分野に強い関心を有し、次の全てを満たすこと。

1. 数学をはじめとする確かな基礎力をベースに、高度な専門力を身につけたい人
2. ものづくりを通して意欲的かつ独創的な研究者・技術者として社会に貢献したい人

なお、当該分野に関連して自ら主張できる能力または実績、優れた公的資格(数学検定、無線技術等)や顕著な活動経験(各種競技会(コンテスト)出場や社会活動参加など)の経験を有することが望ましい。

総合型選抜(AO(アドミッション・オフィス))は、本学部への入学を第一志望とし、勉学意欲のある学生を積極的に募集するものです。

選考方法については、第1次選考として書類による選考、第2次選考は選考委員による個別面接や口頭試問、志願者自身によるプレゼンテーション等を実施し、一人一人丁寧に審査されます。

この制度では面接を重視し、今までの学力試験だけでははかれなかった受験生の人間性や入学後の可能性を探り、また今までひたむきに打ち込んできた活動経験や学習内容を、総合的かつ多面的に評価する全人評価の入学選抜です。

工学部のアドミッションポリシー(求める人物像)

科学技術の中核をなす工学の専門的な知識・技術を備え、安全で快適な社会の発展に貢献できる技術者を養成するという工学部の教育理念を十分に理解し、工学部を志望する理由が明確であり、工学を学ぶにふさわしい基礎学力と資質を有している、次のような学生を受け入れます。

志望する学科の志望理由が明確で、入学後に学びたいことは何かを明確に伝えることが出来る人であり、かつ、数学および理科の勉学に熱意を持ち、志望する学科で身につける技術力を活かして、将来、社会で活躍したいと希望する人。

優れた公的資格(情報処理、英語検定、数学検定、無線技術者等)を有する人か、顕著な活動経験(各種コンクールやコンテストで入賞等)を有する人が、特に望ましい。

総合型選抜(AO(アドミッション・オフィス))は、本学部入学に強い意欲のある学生を積極的に募集するものです。選考方法については、第1次選考として書類による選考、第2次選考は選考委員による個別面接や志願者自身によるプレゼンテーション等を実施し、一人一人丁寧に審査されます。

この制度では面接を重視し、今までの学力試験だけでははかれなかった受験生の人間性や入学後の可能性を探り、また今までひたむきに打ち込んできた活動経験や学習内容を、総合的かつ多面的に評価する全人評価の入学選抜です。

理工学部のアドミッションポリシー(求める人物像)

理工学部の教育理念「未来型科学技術者の養成・人間性豊かな社会人の養成」について十分に理解した上で、本学部への志望動機が明確で学習意欲の高い学生を積極的に募集します。

また、理工学部各学系に関係する科目が特に好きで優れた成績を修めた人、優れた公的資格(英語検定・TOEIC・数学検定・情報処理等)を有する人、高校時代に顕著な活動歴(各種コンテスト・コンクール入賞・社会貢献活動・クラブ活動で中心的な役割を務めた人等)がある人を、多面的に評価します。

<理学系>

理工学部のアドミッションポリシーに加え、理学分野(数学、物理学、化学または数理情報学)に強い興味を持ち、学系をリードして熱心に勉学や研究に取り組む意欲がある人。

<生命科学系>

理工学部のアドミッションポリシーに加え、生命科学分野に強い興味を持ち、学系をリードして熱心に勉学や研究に取り組む意欲がある人。

<情報システムデザイン学系>

理工学部のアドミッションポリシーに加え、情報・文化・芸術分野(コンピュータソフトウェアや情報機器の設計・製作、デジタルコンテンツ作品の制作等)に強い興味を持ち、学系をリードして熱心に勉学や研究に取り組む意欲と実績がある人。

<機械工学系>

理工学部のアドミッションポリシーに加え、機械工学分野に強い興味を持ち、学系をリードして熱心に勉学や研究に取り組む意欲がある人。

<電子情報・生体医工学系>

理工学部のアドミッションポリシーに加え、電気電子工学分野ならびに生体医工学分野に強い興味を持ち、学系をリードして熱心に勉学や研究に取り組む意欲がある人。

<建築・都市環境学系>

理工学部のアドミッションポリシーに加え、建築や都市環境の分野に強い興味を持ち、学系をリードして熱心に勉学や研究に取り組む意欲がある人。

1. 募集人員

学部・学科	学科・学系	募集人員
システムデザイン工学部	情報システム工学科	若干名
	デザイン工学科	
未来科学部	建築学科	
	情報メディア学科	
	ロボット・メカトロニクス学科	
工学部	電気電子工学科	
	電子システム工学科	
	応用化学科	
	機械工学科	
	先端機械工学科	
	情報通信工学科	
理工学部 理工学科	理学系	
	生命科学系	
	情報システムデザイン学系	
	機械工学系	
	電子情報・生体医工学系 ※	
	建築・都市環境学系	

※ 2024年4月「電子情報・生体医工学系」開設

2. 選考日程等

摘要	選考日程
第1次選考出願期間	2023年9月14日(木)～9月21日(木) ※消印有効
第1次選考受験票発行日	2023年9月29日(金)
第1次選考合格発表日	2023年10月10日(火)
第2次選考出願期間	2023年10月10日(火)～10月13日(金) ※消印有効
第2次選考受験票発行日	2023年10月17日(火)
第2次選考日	2023年10月21日(土)
最終合格発表日	2023年11月1日(水)
第1回入学手続期間	2023年11月1日(水)～11月10日(金)
第2回入学手続期間	2024年1月12日(金)～1月22日(月)

3. 出願資格

以下に記す(1)～(3)の条件を全て満たす者。なお、高等学校で下記の配当科目がない場合や出願資格について不明な点がある場合には、2023年9月1日(金)までに必ず本学入試センターへお問い合わせください。

(1) 本学部への入学を第一志望とする者。

(2) 以下に記す①～③のいずれかの資格を満たす者。

① 高等学校(中等教育学校)を卒業した者、または、2024年(令和6年)3月卒業見込みの者。

② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者、または、2024年(令和6年)3月修了見込みの者。

③ 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者、または、2024年(令和6年)3月までにこれに該当する見込みの者。

(該当する者は、事前審査が必要です。2023年9月1日(金)までに必ず入試センターへお申し出ください。)

(3) 以下に記す「①と②(両方)」、もしくは「③」の基準を満たす者

① 高等学校その他本学が認定する教育機関において、下記科目の単位を履修中または履修済みの者。

● 普通科の場合

・数学(数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B)

・外国語(コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ)

● 理数科の場合

・数学(理数数学Ⅰ、理数数学Ⅱ)

・外国語(コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ)

● 工業科、総合学科及びその他の学科の場合

・数学(数学Ⅰ、数学Ⅱ)、外国語(コミュニケーション英語Ⅰ)

② 学習成績の状況

2024年(令和6年)3月卒業(修了)見込者の下記の学習成績の状況の算出は、在籍学校の第3学年1学期、または前期までの成績とする。(既卒者は卒業(修了)時の成績とする。)

学部	学習成績の状況
システムデザイン工学部	数 学 3.5 以上かつ、外国語 3.5 以上
未来科学部	
工学部	
理工学部	数 学 3.3 以上かつ、外国語 3.3 以上

※上記の学習成績の状況は、出願資格(3)①に記載された科目のみでなく当該教科で修得した全ての科目を含めて算出した値とする。

なお、出願時に第3学年1学期までの成績が確定していない場合は、第2学年までの成績とする。また、2学期制の学校で出願時に第3学年前期までの成績が確定していない場合も、第2学年までの成績とする。

ただし、第3学年1学期または前期の成績が確定次第、速やかに調査書を提出しなければなら

ず、確定した成績が当該成績基準を満たしていない場合には、出願資格を失い、試験に合格していた場合でも合格を取り消すこととする。

※この事由に当てはまる場合には事前に本学入試センターにお問い合わせください。

③出願資格(2)③で出願予定であり、(3)①、②の基準にあてはまらない者で、事前審査によって本学がそれに相当する学力があると認めた者。

※卒業見込みの者が入学までに大学入学資格を満たすことができない場合は、入学者選抜に合格しても入学が認められませんのでご注意ください。

4. 第1次選考の出願について

(1)出願方法

巻末の「インターネット出願の手引き」を確認の上、手順に従って出願をしてください。

(2) 提出書類(日本語を使用してください。鉛筆や消えるボールペンは使用しないでください。)

システムデザイン工学部	
入学志願票	インターネット出願サイトにて、出願登録及び検定料納入後にマイページからダウンロード・印刷をしてください。 ※詳細は巻末の「インターネット出願の手引き」を参照。
志望理由書	本学 Web サイトの総合型選抜(AO)ページよりダウンロード・印刷をしてください。 本学所定様式。 ①400文字以上、800文字以下で記入してください。 ②当該学科を志望する理由、またその学科に入学してどのような事を学びたいか、さらに今まで自分が特に取り組んできた活動内容や取得資格をまとめ、記入してください。
活動報告書	本学 Web サイトの総合型選抜(AO)ページよりダウンロード・印刷をしてください。 本学所定様式。 ①1200文字以上、1600文字以下で記入してください。英語の場合は、300ワード以上500ワード以下で記入してください。 ②今まで自分が取り組んできた顕著な活動について、記入してください。
成績・卒業に関する証明書	出身学校長が作成し、厳封したもの。 ①卒業見込み者の場合は、出願日から遡って3ヶ月以内に発行された調査書を提出してください。 ②卒業者の場合は、出願日から遡って3ヶ月以内に発行された調査書を提出してください。ただし、出身校で発行ができない場合は、成績証明書と卒業証明書を提出してください。 ③高等学校卒業程度認定試験の合格者(合格見込み者)は、出願日から遡って3ヶ月以内に発行された合格成績証明書(合格見込成績証明書)を提出してください。 ◆学校関係者の皆様へ 調査書の作成にあたり、以下の点にご注意ください。 ①出願時に第3学年1学期または前期の評定を記載できない場合はその理由を付して記載不可としてください。 ②新型コロナウイルス感染症の影響による臨時休校、大会、資格・検定試験等の中止により記載できない場合は、その理由を付した上で、参加予定であった大会名や資格・検定試験名を記載してください。 ※上記①②は、受験生が記載するものではありません。
その他(任意提出)	①自分が行ってきた活動に対して評価をもらえる第三者からの推薦状を提出しても結構です。(学校関係者、団体役員、法人役員等、ただし親族を除く。捺印または署名が必要です。) ②取得資格、賞状等を提出する場合は、必ずコピー(A4サイズ)を提出してください。

未来科学部

入学志願票	インターネット出願サイトにて、出願登録及び検定料納入後にマイページからダウンロード・印刷をしてください。 ※詳細は巻末の「インターネット出願の手引き」を参照。
第1次提出課題(p.13～)	課題の内容は、 第1次提出課題(p.13～) をご参照ください。 ① A4用紙(縦)に横書きで本文は3～5枚程度を目安とします。 ② 本文とは別に表紙を付けて、その表紙に志望学科、課題に基づくテーマ、高校名、氏名を必ず記載してください。 ③ 黒ボールペンで記入してください。なお、パソコンによる作成も可能です。 ④ イラスト、写真、図、グラフなど文章以外の表現を含むことも可能です。 ⑤ ページの通し番号を記入してください。 ⑥ クリップで留めてください。(のり、ホチキスは使用不可) ⑦ 文献を引用した、または参考にした場合は、本文の末尾に文献リストを付けてください。文献が書籍の場合は著者名、書籍名、出版元を、webの場合はページのタイトルとアドレス(URL)を示してください。また、各文献には通し番号を付けて、本文中で引用した箇所にその番号を挿入してください。なお、生成系 AI の出力や、web ページ、書籍などの記載を不適切に使用し、自分の成果(提出物)とすることは不正行為にあたり認められません。 ※文献引用の記載は文献引用の記載例(p.17)を参照してください。
志望理由書	本学 Web サイトの 総合型選抜(AO) ページよりダウンロード・印刷をしてください。本学所定様式。 ①400文字以上、800文字以下で記入してください。 ②当該学科を志望する理由、またその学科に入学してどのような事を学びたいか、さらに今まで自分が特に取り組んできた活動内容や取得資格をまとめ、記入してください。
活動報告書	本学 Web サイトの 総合型選抜(AO) ページよりダウンロード・印刷をしてください。本学所定様式。 ①1200文字以上、1600文字以下で記入してください。英語の場合は、300ワード以上500ワード以下で記入してください。 ②今まで自分が取り組んできた顕著な活動について、記入してください。
成績・卒業に関する証明書	出身学校長が作成し、厳封したもの。 ①卒業見込み者の場合は、出願日から遡って3ヶ月以内に発行された調査書を提出してください。 ②卒業者の場合は、出願日から遡って3ヶ月以内に発行された調査書を提出してください。ただし、出身校で発行ができない場合は、成績証明書と卒業証明書を提出してください。 ③高等学校卒業程度認定試験の合格者(合格見込み者)は、出願日から遡って3ヶ月以内に発行された合格成績証明書(合格見込成績証明書)を提出してください。 ◆学校関係者の皆様へ <u>調査書の作成にあたり、以下の点にご注意ください。</u> ①出願時に第3学年1学期または前期の評定を記載できない場合はその理由を付して記載不可としてください。 ②新型コロナウイルス感染症の影響による臨時休校、大会、資格・検定試験等の中止により記載できない場合は、その理由を付した上で、参加予定であった大会名や資格・検定試験名を記載してください。 ※上記①②は、受験生が記載するものではありません。
その他(任意提出)	①自分が行ってきた活動に対して評価をもらえる第三者からの推薦状を提出しても結構です。(学校関係者、団体役員、法人役員等、ただし親族を除く。捺印または署名が必要です。) ②取得資格、賞状等を提出する場合は、必ずコピー(A4サイズ)を提出してください。

<p>入学志願票</p>	<p>インターネット出願サイトにて、出願登録及び検定料納入後にマイページからダウンロード・印刷をしてください。 ※詳細は巻末の「インターネット出願の手引き」を参照。</p>
<p>第1次提出課題(p.13～)</p>	<p>課題の内容は、第1次提出課題(p.13～)をご参照ください。 ① A4用紙(縦)に横書きで本文は3～5枚程度を目安とします。 ② 本文とは別に表紙を付けて、その表紙に志望学科、課題に基づくテーマ、高校名、氏名を必ず記載してください。 ③ 黒ボールペンで記入してください。なお、パソコンによる作成も可能です。 ④ イラスト、写真、図、グラフなど文章以外の表現を含むことも可能です。 ⑤ ページの通し番号を記入してください。 ⑥ クリップで留めてください。(のり、ホチキスは使用不可) ⑦ 文献を引用した、または参考にした場合は、本文の末尾に文献リストを付けてください。文献が書籍の場合は著者名、書籍名、出版元を、webの場合はページのタイトルとアドレス(URL)を示してください。また、各文献には通し番号を付けて、本文中で引用した箇所にその番号を挿入してください。なお、生成系 AI の出力や、web ページ、書籍などの記載を不適切に使用し、自分の成果(提出物)とすることは不正行為にあたり認められません。 ※文献引用の記載は文献引用の記載例(p.17)を参照してください。</p>
<p>志望理由書</p>	<p>本学 Web サイトの総合型選抜(AO)ページよりダウンロード・印刷をしてください。 本学所定様式。 ①400文字以上、800文字以下で記入してください。 ②当該学科を志望する理由、またその学科に入学してどのような事を学びたいか、さらに今まで自分が特に取り組んできた活動内容や取得資格をまとめ、記入してください。</p>
<p>活動報告書</p>	<p>本学 Web サイトの総合型選抜(AO)ページよりダウンロード・印刷をしてください。 本学所定様式。 ①1200文字以上、1600文字以下で記入してください。英語の場合は、300ワード以上500ワード以下で記入してください。 ②今まで自分が取り組んできた顕著な活動について、記入してください。</p>
<p>成績・卒業に関する証明書</p>	<p>出身学校長が作成し、厳封したもの。 ①卒業見込み者の場合は、出願日から遡って3ヶ月以内に発行された調査書を提出してください。 ②卒業者の場合は、出願日から遡って3ヶ月以内に発行された調査書を提出してください。ただし、出身校で発行ができない場合は、成績証明書と卒業証明書を提出してください。 ③高等学校卒業程度認定試験の合格者(合格見込み者)は、出願日から遡って3ヶ月以内に発行された合格成績証明書(合格見込成績証明書)を提出してください。 ◆学校関係者の皆様へ <u>調査書の作成にあたり、以下の点にご注意ください。</u> ①出願時に第3学年1学期または前期の評定を記載できない場合はその理由を付して記載不可としてください。 ②新型コロナウイルス感染症の影響による臨時休校、大会、資格・検定試験等の中止により記載できない場合は、その理由を付した上で、参加予定であった大会名や資格・検定試験名を記載してください。 ※上記①②は、受験生が記載するものではありません。</p>
<p>その他(任意提出)</p>	<p>①自分が行ってきた活動に対して評価をもらえる第三者からの推薦状を提出しても結構です。(学校関係者、団体役員、法人役員等、ただし親族を除く。捺印または署名が必要です。) ②取得資格、賞状等を提出する場合は、必ずコピー(A4サイズ)を提出してください。</p>

入学志願票	インターネット出願サイトにて、出願登録及び検定料納入後にマイページからダウンロード・印刷をしてください。 ※詳細は巻末の「インターネット出願の手引き」を参照。
第1次提出課題(p.13～)	課題の内容は、第1次提出課題(p.13～)をご参照ください。 ① A4用紙(縦)に横書きで本文は3～5枚程度を目安とします。 ② 本文とは別に表紙を付けて、その表紙に志望学科、課題に基づくテーマ、高校名、氏名を必ず記載してください。 ③ 黒ボールペンで記入してください。なお、パソコンによる作成も可能です。 ④ イラスト、写真、図、グラフなど文章以外の表現を含むことも可能です。 ⑤ ページの通し番号を記入してください。 ⑥ クリップで留めてください。(のり、ホチキスは使用不可) ⑦ 文献を引用した、または参考にした場合は、本文の末尾に文献リストを付けてください。文献が書籍の場合は著者名、書籍名、出版元を、webの場合はページのタイトルとアドレス(URL)を示してください。また、各文献には通し番号を付けて、本文中で引用した箇所にその番号を挿入してください。なお、生成系AIの出力や、webページ、書籍などの記載を不適切に使用し、自分の成果(提出物)とすることは不正行為にあたり認められません。 ※文献引用の記載は文献引用の記載例(p.17)を参照してください。
志望理由書	本学Webサイトの総合型選抜(AO)ページよりダウンロード・印刷をしてください。 本学所定様式。 ①400文字以上、800文字以下で記入してください。 ②当該学科を志望する理由、またその学科に入学してどのような事を学びたいか、さらに今まで自分が特に取り組んできた活動内容や取得資格をまとめ、記入してください。
活動報告書	本学Webサイトの総合型選抜(AO)ページよりダウンロード・印刷をしてください。 本学所定様式。 ①1200文字以上、1600文字以下で記入してください。英語の場合は、300ワード以上500ワード以下で記入してください。 ②今まで自分が取り組んできた顕著な活動について、記入してください。
成績・卒業に関する証明書	出身学校長が作成し、厳封したもの。 ①卒業見込み者の場合は、出願日から遡って3ヶ月以内に発行された調査書を提出してください。 ②卒業者の場合は、出願日から遡って3ヶ月以内に発行された調査書を提出してください。ただし、出身校で発行ができない場合は、成績証明書と卒業証明書を提出してください。 ③高等学校卒業程度認定試験の合格者(合格見込み者)は、出願日から遡って3ヶ月以内に発行された合格成績証明書(合格見込成績証明書)を提出してください。 ◆学校関係者の皆様へ 調査書の作成にあたり、以下の点にご注意ください。 ①出願時に第3学年1学期または前期の評定を記載できない場合はその理由を付して記載不可としてください。 ②新型コロナウイルス感染症の影響による臨時休校、大会、資格・検定試験等の中止により記載できない場合は、その理由を付した上で、参加予定であった大会名や資格・検定試験名を記載してください。 ※上記①②は、受験生が記載するものではありません。
その他(任意提出)	①自分が行ってきた活動に対して評価をもらえる第三者からの推薦状を提出しても結構です。(学校関係者、団体役員、法人役員等、ただし親族を除く。捺印または署名が必要です。) ②取得資格、賞状等を提出する場合は、必ずコピー(A4サイズ)を提出してください。

(3)提出方法

インターネット出願サイトにて、出願登録及び検定料納入後にマイページから封筒貼り付け用「宛先ラベル」をダウンロード・印刷をしてください。印刷した貼付用「宛先ラベル」を各自で用意した角 2 サイズ以上の封筒に張り、出願提出書類一式を同封して、郵便局窓口から簡易書留・速達で郵送してください。

(4)提出書類についての注意事項

- ① 出願書類を受理した後は、原則として記載事項の変更及び出願書類の返還はいたしません。
- ② 出願書類に虚偽の記載及び不正な申告があった場合は、入学を認めないことがあります。

(5)入学検定料の納入について

入学検定料 10,000 円(第 1 次選考分)

●コンビニエンスストア・クレジットカード・Pay-easy(ペイジー)でお支払いが可能です。

●納入方法は、巻末の「インターネット出願の手引き」を参照してください。

※上記以外の方法(金融機関窓口、Pay-easy(ペイジー)を利用しない ATM 等)でのお支払いはできません。

(6)受験票の発行について

受験票の送付はいたしません。志願者が各自でダウンロード・印刷をしてください。受験票の発行方法については、巻末の「インターネット出願の手引き」を必ずご確認ください。

5. 第1次提出課題

システムデザイン工学部

学科	課題
情報システム工学科	第1次提出課題はありません
デザイン工学科	

未来科学部

学科	課題
建築学科	<p>日本の公園制度は太政官布達第16号によって始まり、今年で150周年を迎えます。日本には国立公園や都市公園など様々な公園が存在しますが、ここでは市民の憩いの場として利用されてきた街中にある公園を取り上げます。身近な街中にある公園について、少子高齢化が進む日本社会において、よりよい活用と今後の改善について考えることは都市や街づくりにおいて重要なことだと思います。また、家族構成も変化する現代において、子どもからお年寄りまで様々な利用者を想定する必要があります。そこで、以下の問いに答えてください。</p> <p>(1) 利用したことがある面積 1ha 程度の街中にある公園を一つ取り上げ、その概要がわかるような敷地図(平面図)を大まかな寸法などを記入し作成してください。樹種まで記載する必要はありませんが、樹木がどの程度あるか、遊具、歩道、施設がどのように配置されているかがわかるように記載してください。</p> <p>(2) 上記で取り上げた公園をよりよくするための方策を以下のキーワードを考慮しながら考えていただき、具体的にイラストを交えて提案してください。この場合法律上の制約を必ずしも満足する必要はありません。</p> <p>キーワード: 防災、環境、少子高齢化、こどもの空間、健康増進、サードプレイス、維持管理</p> <p>* 参考にした文献(新聞や書籍など紙媒体、Web、企業・自治体のパンフレットなど)や情報があれば、出典を明記してください。</p>
情報メディア学科	<p>文章や画像、ソースコードなどを自動で生成するジェネレーティブ AI (生成 AI) が大きな話題となっており、世界的な議論を巻き起こしています。様々なメリットが期待されている反面、これまでの社会の仕組みや文化を変えるような問題も取り沙汰されています。このことを踏まえて、以下 (1) ~ (3) の問いに答えてください。図表や参考文献の扱いは、全体の注意事項に従うこととします。</p> <p>(1) ジェネレーティブ AI の例を1つ挙げ、その内容を説明してください。</p> <p>(2) 上記 (1) で述べたジェネレーティブ AI の基盤となっている技術を挙げ、その仕組みと特徴を述べてください。同時に、当該ジェネレーティブ AI が抱える課題や問題点を、技術的な面および社会的な面双方から挙げてください。</p> <p>(3) 上記 (2) で挙げた課題や問題点に対して、当該技術や社会の仕組みがどのように進歩すれば良いと思うか、またそれらの進歩がもたらす我々の生活の未来像についてあなたの考えを述べてください。そして、あなたが現時点で保有している知識や技術のうち、その進歩に貢献できると思うものをその理由とともに挙げてください。</p>

未来科学部 ロボット・メカトロニクス学科の課題は次頁にあります。

未来科学部

学科	課題
ロボット・メカトロニクス学科	<p>本学科における学びの中心はメカトロニクス技術である。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「メカトロニクス」の定義とその変遷について、文献等を調査し、まとめなさい。その上で、今後メカトロニクスはどのように発展するか、自らの考えを述べなさい。 2. あなたが日常的に使用するメカトロニクス製品の実例を挙げ、どのような要素技術がいかに統合されているかを例示しながら、メカトロニクス技術が社会の中でどのように役立っているかを述べなさい。 3. メカトロニクス技術と数学の関連について文献等を調査し、自らの考えとその根拠を述べなさい。 <p>以上の 1、2、3 の課題全てについて述べ、A4 サイズ(縦)に横書きで本文は3～5枚程度を目安として作成してください。</p> <p>また、文献や web に掲載されている図・画像・イラスト・表は、そのまま転載せず、それらをもとに作図、または表を作成するようにし、画像については、自ら撮影した画像のみを使用してください。</p> <p>参考にした文献は、末尾に「参考文献」の一覧を作成し、引用・参考文献は通し番号を付け、本文の該当箇所を上付き添え字¹⁾または^{2),3)}あるいは^{4)~6)}のように示してください。</p>

工学部

学科	課題
電気電子工学科	<p>現在、人間との自然な対話や知的作業のサポートに加え、創作活動まで可能な AI(人工知能)技術が急速に進歩しています。</p> <p>この技術について次の(1)(2)両方の立場から述べなさい。</p> <p>(1)規制せずに活用する立場 具体的な論拠を示して述べるとともに、(2)の立場への反論を含めること。</p> <p>(2)規制が必要とする立場 具体的な論拠を示して述べるとともに、(1)の立場への反論を含めること。</p> <p>web や資料等から得た情報を用いる場合には、必ず出典を明らかにすること。</p>
電子システム工学科	
応用化学科	
機械工学科	
先端機械工学科	
情報通信工学科	

理工学部

学系	課題
理学系	<p>以下の A、B の課題の中から1つ選び、答えてください。なお、これは2次選考において行う「課題プレゼンテーション」のテーマ、及び概要となります。 (注)入学した場合のコース配属と課題の選択は無関係です。</p> <p>[A] 近年発達が著しい人工知能(AI)技術について、今後のあなたの将来(大学生活やその後の社会生活)に影響を及ぼすと思われる技術や出来事を主題として1つ挙げ、それとあなたの将来との関わりについて、具体的かつ詳細に論じてください。第三者的な立場の評論ではなく、必ず「あなた自身」とAIの将来的な関わりを主軸として論じて下さい。</p> <p>以下の条件を全て満たすこと。 (1)「2023年1月以降に公表されたAI技術」か、「2023年1月以降に国内外で反響を呼んだAI関連の出来事やニュース」のいずれかから主題を選び、その公表時期が2023年1月以降であることがわかる出典(URL等)を示す。 (2) 選んだ主題の概要を、最初に簡潔に説明する。ただし、概要説明の分量(文字数)は、解答全体の約1/3以下とする。 (3) 主題として選んだ技術や出来事について、それが自身の人生にどのように関わってくるかと思われるかや、自身がそれをどのように活用していきたいと考えているかを、あなた自身の興味・関心や将来の進路、人生設計などを踏まえた上で、詳しく論じる。 (4) 主題として選んだ技術や出来事について、肯定的な観点および否定的な観点の双方から、あなたの今後の人生への関わりを論じる。 (5) 数学、理科、情報や工業などの理工系分野の学術的な観点に基づく理論的な考察を含めて論じる。</p> <p>[B] 自分が面白いと思った科学の実験・観測を一つ挙げ(例えばピサの斜塔実験、ジュールの実験、重力波の観測、ファラデーの電気分解の法則の発見、ポリアセチレンの発見、DNAの二重らせん構造の決定など)、以下の項目について具体的かつ詳細に論じて下さい。 Webや資料等から得た情報を用いる場合には、必ず出典を明らかにすること。</p> <p>(1) その目的と原理を説明せよ。 (2) どの点に興味を惹かれたかを述べよ。</p>
生命科学系	<p>東京電機大学では、実学尊重を建学の精神として掲げております。大学卒業後に社会でどのような活躍をイメージして、東京電機大学に入学したいと考えているか、その将来構想を実現させるために、日々の取り組みとして何か必要であるか、具体化させることで、希望を実現させやすい、と考えられます。これを踏まえて、下記の問いに対して、回答を記載してください。</p> <p>(Q1) あなたは、大学卒業から5年後、「どのような場でどのような職に就き、何に取り組む」計画を立てていますか？ (Q2) 何故その道を志すのか？その「これまでの経験に基づいて具体的な理由」を説明してください。</p> <p>生命科学系では、「医療・健康」、また「環境・食品」のベースとなる「生命科学」分野において、基礎から応用まで、教育および研究に取り組んでいます。</p> <p>(Q3) 上記 Q1 を実現させるために、大学入学後に、あなたは「何をどのように学ぶ計画」ですか？ (Q4) 「何をどのように工夫して取り組む」ことで、上記 Q1 で記載した「将来計画」の実現可能性を高めませんか？</p> <p>ただし、以下の条件をすべて満たした作文とすること。 ・上記 Q1～Q4 全ての問題に回答する。 ・各々の回答には、Q1～Q4 に対応する番号(A1～A4)を付けて、300字以上で、合計1200字以上記載してください。 ・文献を最低2つは参照し、文献情報を記載してください。(著者名、タイトル、出版社、参照情報が記載されたページ数、発行年、等詳細を記載すること。文献の選定も評価の対象とします。書籍など著者が実名で明記されており、出版後の改変が不可能な文献を重視します)</p>

理工学部 情報システムデザイン学系・機械工学系・電子情報・生体医工学系・建築・都市環境学系の課題は次頁にあります。

理工学部

学系	課題
情報システムデザイン学系	<p>文章、絵画、イラスト、音楽などのメディア・アート・コンテンツを、人間が与えたいいくつかのキーワードから自動的に生成できる、生成系 AI と呼ばれる技術が急速に広まっています。こうした革新的技術は素晴らしい可能性を秘める一方で、革新的ゆえに人類の社会・文化に及ぼす悪影響もまた計り知れません。このことを踏まえて、以下の三つの考察を行ってください。なお、単に自分の考えを書くだけでなく、公表されている資料を引用して客観的な考察を述べてください。また引用した参考文献は全て文末に列挙してください。</p> <p>(1)あなたが学校の授業や個人的趣味などで文章や絵画、音楽などを作成した経験を例に挙げ、特に難しいと感じた点を挙げてください。そして、その困難を乗り越えるために現在の生成系 AI が活用できるかどうか、考察してください。</p> <p>(2)あなたが学校の授業や個人的趣味などで文章や絵画、音楽などを作成した経験を例に挙げ、特に楽しいと感じた点を挙げてください。そして、その楽しさは生成系 AI の普及によって失われるか、残るかについて考察してください。</p> <p>(3)上記(1)(2)の考察に基づいて、これからの人々が生成系 AI とどのように付き合っていくべきかについて考察してください。</p>
機械工学系	<p>近年の自動運転技術の急速な進展により米国や中国ではタクシーとしての商用利用が開始され話題となっている。収益化は今後の課題となるが、将来の超スマート社会における必要不可欠な移動手段として自動運転は益々注目され発展するものと考えられる。サイエンスフィクションを超越する世界がすぐ側まで近づいているかもしれない。このような現状を踏まえ内閣府は「第4次産業革命」について定義を公開し国民に情報提供を行っており、特にエンジニアに対しては Society 5.0 の実現に向けた積極的かつ挑戦的な取組みを促しているようにも見る事ができる。</p> <p>そのようなことから、みなさんが入学後に習得する機械工学と超スマート社会との関連性について調査し自由に記述してください。また、そのような高度社会においてどのような貢献をしたのかについて論述してください。</p>
電子情報・生体医工学系	<p>以下①、②についてすべて回答してください。</p> <p>①近年、コンピュータ性能の飛躍的な向上に伴い、機械学習によって大量の情報を解析し、人工知能による新たなデータ生成を行う生成型 AI が登場してきています。まるで人間と対話するように情報を提示してくれる一方で、学習元データを無断で収集する著作権の問題や、自然な文章で回答するもののその内容が事実と異なるものであったり、正確性に欠けるものが多かったり、といった課題があります。生成される情報がもし医療機器に使われたら、便利な側面もある一方で、患者に大きな不都合を与えてしまう可能性もあります。(1)近い将来、生成型 AI による医療機器・福祉機器・ホームヘルス機器としてどのようなものが登場してくるか、自分の考えを述べてください(約 600 字)。(2)生成型 AI が引き起こす問題(医療機器に限らない)としてどのようなものが考えられ得るか、自分の考えを述べてください(約 600 字)。</p> <p>②昨今の新型コロナウイルス感染患者の診断や治療には、様々な医療機器が用いられています。そのうち 1 つの医療機器について自分で選び、その機器で用いられている生体情報計測の技術を1つ挙げ、その技術の名称とはたらきについて調べ、説明してください(約 800 字)。その際、調べた文献は末尾に自らの論述にとって有用であった順に並べて番号をつけ、引用した部分がわかるように[1]、[2]など文献の番号を本文中に示してください。</p>
建築・都市環境学系	<p>近年の AI(人工知能)の著しい発展により、職業によっては人間の必要性が無くなる可能性などが言及されてきている。建築物や都市などの設計分野において、そのような AI 技術の発達を与えられると思われる良い影響と悪い影響についてそれぞれ考えて説明せよ。</p>

6. 文献引用の記載例

第1次選考提出課題における文献引用の記載例

本文(例):

ハイブリッド自動車には、シリーズ方式、パラレル方式、スプリット方式がある[1]。その中でも最も販売実績がある方式は○×社が製造・販売しているスプリット方式で、販売実績は2012年時点で400万台を超えている[2]。

...

しかしこれらのアイデアは現在の規制[7]をクリアすることができておらず、実用化が難しい状況にある。このアイデアは問題解決のために大変に有効であるため、法整備も含めた検討を早急に行う必要があると考える。例えば、車種規制について以下のように改定すれば、現行の規制の趣旨に反することなく、このアイデアを取り入れることができると思われる。

...

本文末尾の文献リスト(例):

文献

[1]鈴木一郎、日野次郎、光岡三郎、「自動車技術ガイドブック」、茅場出版社、2015.03

[2]○×社、「H25年プレス発表」:<www.marubatu-motors.co.jp/press2013/>, 参照 2020.08.30

...

[7]国土交通省、対象法令一覧, 自動車交通関係:<https://www.mlit.go.jp/onestop/hourei_.html#jidousya>, 参照 2020.08.30

7. 第1次選考

総合型選抜(AO(アドミッション・オフィス))の第1次選考では、受験生より提出された第1次選考出願提出書類を総合的に判断し、第2次選考対象者を決定します。

8. 第1次選考合格発表

(1)合格発表日：2023年10月10日(火)

(2)発表方法

インターネット出願サイトのマイページより合否照会を行ってください。

合格発表日の13:00から出願者全員が合否結果を照会できます。

※合否照会方法の詳細は巻末の「合否照会の方法」を参照してください。

9. 第2次選考の出願について

(1) 出願方法

第2次選考は、第1次選考合格者のみ出願が可能です。

巻末の「インターネット出願の手引き」を確認の上、手順に従って出願をしてください。

(2) 第2次選考出願提出書類

出願書類	摘要
第2次選考受験申込書	インターネット出願サイトにて、出願登録及び検定料納入後にマイページからダウンロード・印刷をしてください。 ※詳細は巻末の「インターネット出願の手引き」を参照。
プレゼンテーション用機材申請書	インターネット出願サイトにて、出願登録及び検定料納入後にマイページからダウンロード・印刷をしてください。 ※詳細は巻末の「インターネット出願の手引き」を参照。

(3) 提出方法

インターネット出願サイトにて、出願登録及び検定料納入後にマイページから封筒貼り付け用「宛先ラベル」をダウンロード・印刷をしてください。印刷した貼付用「宛先ラベル」を各自で用意した角2サイズ以上の封筒に張り、出願提出書類一式を同封して、郵便局窓口から簡易書留・速達で郵送してください。

(4) 入学検定料の納入について

入学検定料 25,000円(第2次選考分)

●コンビニエンスストア・クレジットカード・Pay-easy(ペイジー)でお支払いが可能です。

●納入方法は、巻末の「インターネット出願の手引き」を参照してください。

※上記以外の方法(金融機関窓口、Pay-easy(ペイジー)を利用しないATM等)でのお支払いはできません。

(5) 受験票の発行について

受験票の送付はいたしません。志願者が各自でダウンロード・印刷をしてください。受験票の発行方法については、巻末の「インターネット出願の手引き」を必ずご確認ください。

10. 第2次選考

システムデザイン工学部

(1) 選考日及び選考会場

選考日	2023年10月21日(土)
集合時刻	9時30分(9時より受付開始)
集合場所	東京電機大学 東京千住キャンパス (選考会場は当日案内します)

(2) 選考方法: 以下の選考方法により判定します。

学科	選考内容及び時間
情報システム工学科	10:00～ プレゼンテーション及び個別面接(口頭試問を含む5段階評価)
デザイン工学科	

◆プレゼンテーション及び個別面接について

学部が指定する場所において、面接委員に対しプレゼンテーション及び個別面接等を行います。(時間はプレゼンテーション10分、個別面接10分の合計20分程度)

プレゼンテーションの時間は通常の個別面接とは異なり、志望する学科のアドミッションポリシーに基づき、受験生から面接委員に対して今までひたむきに打ち込んできた活動経験や学習内容、入学後に学びたい事、将来の夢、勉学意欲、入学意欲等を自由にアピールしてもらいます。その際、制作物を持ち込んで披露することや、パソコンやホワイトボード等を使用することもできます。

また、志望理由書及び活動報告書等も参考に質疑応答を行います。

※口頭試問の範囲は、数学(数学Ⅰ・数学Ⅱ)です。黒板(またはホワイトボード)を使用する場合があります。

(1)選考日及び選考会場

選考日	2023年10月21日(土)
集合時刻	9時30分(9時より受付開始)
集合場所	東京電機大学 東京千住キャンパス (選考会場は当日案内します)

(2)選考方法(確定):以下の選考方法により判定します。

学科	選考内容及び時間	
建築学科	10:00～	
情報メディア学科	プレゼンテーション及び個別面接(口頭試問を含む)	
ロボット・メカトロニクス学科	10:00～11:00 基礎学力試験	12:30～ プレゼンテーション及び個別面接 (口頭試問を含む5段階評価)

◆プレゼンテーション及び個別面接について

学科が指定する場所において、面接委員に対しプレゼンテーション及び個別面接を行います。(時間はプレゼンテーション10分、個別面接(口頭試問を含む)10分の合計20分程度)

プレゼンテーションの時間は通常の個別面接とは異なり、志望する学科のアドミッションポリシーに基づき、受験生から面接委員に対して今までひたむきに打ち込んできた活動経験や学習内容、入学後に学びたい事、将来の夢、勉学意欲、入学意欲等を自由にアピールしてもらいます。その際、制作物を持ち込んで披露することや、パソコンやホワイトボード等を使用することもできます。

また、志望理由書および活動報告書等も参考に質疑応答を行います。

※基礎学力試験(ロボット・メカトロニクス学科)について

数学(数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B[1. 数列、2. ベクトル])、英語(コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ)の基本的知識の確認として基礎学力試験(筆答:60分、100点満点)を行います。

※口頭試問の出題範囲について

学科	口頭試問の出題範囲
建築学科	一般選抜と同等の数学・英語・物理の基礎知識
情報メディア学科	数学(数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B[1. 数列、2. ベクトル]) 黒板(またはホワイトボード)を使用する場合があります。
ロボット・メカトロニクス学科	基礎学力試験の範囲と同一

(1)選考日及び選考会場

選考日	2023年10月21日(土)
集合時刻	9時30分(9時より受付開始)
集合場所	東京電機大学 東京千住キャンパス (選考会場は当日案内します)

(2)選考方法(確定):以下の選考方法により判定します。

学科	選考内容及び時間
電気電子工学科	10:00～ プレゼンテーション及び個別面接 (口頭試問を含む5段階評価)
電子システム工学科	
応用化学科	
機械工学科	
先端機械工学科	
情報通信工学科	

◆プレゼンテーション及び個別面接について

学科が指定する場所において、面接委員に対しプレゼンテーション及び個別面接を行います。(時間はプレゼンテーション10分、個別面接10分の合計20分程度)。

プレゼンテーションの時間は通常の個別面接とは異なり、受験生から面接委員に対して、今までの活動経験や学習経験の中から、特に誇れる事柄を自由にアピールしてもらいます。その際、制作物を持ち込んで披露したり、パソコンの画面を投影したり、ホワイトボードを利用することもできます。

※プレゼンテーションの準備にあたっては、次の点に留意してください。

- グループでの活動について述べる場合は、受験生自身の役割分担や貢献を明確にすること。
- 上級生等からの引き継ぎのある活動について述べる場合は、受験生自身による改善点や創意工夫を明確にすること。
- 公的資格について述べる場合は、当該資格について簡単に説明すること。
- アピールする活動経験や学習経験と入学後に学びたい事、将来の夢との関係に言及すること。

※口頭試問の範囲は、数学(数学Ⅰ・数学Ⅱ)とする。

(1)選考日及び選考会場

選考日	2023年10月21日(土)
集合時刻	9時30分(9時より受付開始)
集合場所	東京電機大学 埼玉鳩山キャンパス (選考会場は当日案内します)

(2)選考方法(確定):以下の選考方法により判定します。

学系	選考内容及び時間
理学系	10:00～ プレゼンテーション及び個別面接(口頭試問を含む5段階評価) 第1次選考課題に沿ったプレゼンテーションを10分以内で行い、個別面接を10分程度行う。プレゼンテーションは、パワーポイントなどPCを用いて行う。または持参した紙の資料を用いて行う。 口頭試問の範囲は、数学(数学I、数学II、数学A、数学B(1.数列、2.ベクトル))、物理(物理基礎)、化学(化学基礎)のうち、出願時に選択した1科目の基礎知識とする。
生命科学系	10:00～ プレゼンテーション及び個別面接(口頭試問を含む5段階評価) 活動報告書を中心に10分以内でプレゼンテーション、個別面接を10分程度行う。 口頭試問の範囲は、数学(数学I、数学II、数学A、数学B(1.数列、2.ベクトル)、数学III)、物理(物理基礎、物理)、化学(化学基礎、化学)、生物(生物基礎、生物)のうち、出願時に選択した1科目の基礎知識とする。
情報システムデザイン学系	10:00～ プレゼンテーション及び個別面接(口頭試問を含む5段階評価) 活動報告書を中心に10分以内でプレゼンテーション、個別面接を10分程度行う。 口頭試問の範囲は、数学(数学I、数学II、数学A、数学B(1.数列、2.ベクトル))と英語(コミュニケーション英語I、コミュニケーション英語II)の基礎知識、及び時事問題とする。
機械工学系	10:00～ プレゼンテーション及び個別面接(口頭試問を含む5段階評価) 第1次選考時に提出した「活動報告書」を中心に、機械工学分野に関して自分自身をアピールするプレゼンテーションを10分以内で行う。プレゼンテーションに用いる資料・機材(パソコンも含む)・制作物等を持参してもよい。個別面接を10分程度行う。 口頭試問の範囲は、数学(数学I、数学II、数学III)、物理(物理基礎、物理)とする。ホワイトボード(または黒板)を使用する場合もある。
電子情報・生体医工学系	10:00～ プレゼンテーション及び個別面接(口頭試問を含む5段階評価) 活動報告書を中心に電気・電子工学分野と自分自身との関わりについてのプレゼンテーションを10分以内で行う。プレゼンテーションに用いる資料・機材(パソコン含む)・制作物等を持参してもよい。個別面接を10分程度行う。 口頭試問の範囲は、物理(物理基礎、物理)の基礎知識とする。
建築・都市環境学系	10:00～ プレゼンテーション及び個別面接(口頭試問を含む5段階評価) 活動報告書を中心に10分以内でプレゼンテーション、個別面接を10分程度行う。 口頭試問の範囲は、数学(数学I、数学II、数学A、数学B[1.数列、2.ベクトル])、英語(コミュニケーション英語I、コミュニケーション英語II)の基礎知識とする。

※第2次選考では志望理由書、活動報告書、第1次選考提出課題も参考にし、個別面接で確認する場合があります。プレゼンテーションでは制作物を持ち込んで披露することや、パソコンやホワイトボード等を使用することもできます。

11. 受験に際しての注意事項

- (1) 第2次選考は、第1次選考に合格した者だけが受験できます。第2次選考当日は、交通機関の遅れ等を考慮し、集合時刻に間に合うよう十分余裕をもって来場してください。
- (2) 受験時の宿泊は、受験生が手配してください。
- (3) 第2次選考当日はインターネット出願サイトのマイページより印刷した第2次選考の受験票、生徒手帳(身分証明書)を持参し、指定の時間・場所に集合してください。
 - ※受験票の発行については巻末の「インターネット出願の手引き」をご参照ください。
 - ※未来科学部ロボット・メカトロニクス学科の受験生は筆記道具、昼食も持参してください。
- (4) 受験票には印刷された内容以外の書き込みを行うことはできません。
- (5) 携帯電話、スマートフォン、腕時計型端末等の電子機器類は選考会場に入る前に必ず電源を切っておいてください。受験票への書き込みや、許可されたもの以外をカバンにしまわず、身につけていたり手に持っていたりすると不正行為と見なされることがあります。
- (6) 未来科学部ロボット・メカトロニクス学科の基礎学力試験において、選考開始時間に遅刻した場合でも、当該選考終了時刻まで受験を認めます。
- (7) プレゼンテーション・個別面接において、集合時刻に遅刻した者は、受験できないことがあります。
- (8) 受験生並びに教職員のマスク着用は「個人の判断」に委ねます。マスクを着用される場合は、本人確認の為に一時的に着脱をお願いすることがあります。
- (9) 体調不良等の場合は、他の受験生や監督等への感染の恐れがありますので、受験はできません。追試験等の措置はございませんので、体調管理等に努めてください。
- (10) 今後の社会的動向等の変化により、選考方法や実施方法に変更が生じる可能性があります。その際には本学 Web サイトの総合型選抜(AO)専用ページにて通知いたしますので、出願時期には随時ご確認をお願いいたします。

12. 最終合格発表

(1) 合格発表日：2023年11月1日(水)

(2) 発表方法

インターネット出願サイトのマイページより合否の照会を行ってください。

合格発表日の13:00から出願者全員が合否結果を照会できます。

※詳細は巻末の「合否照会の方法」をご参照ください。

13. 入学手続について

(1) 入学手続には、入学手続書類の提出と入学手続金の納入が必要です。入学手続金の納入は2段階方式です。下記の第1回入学手続期間内に入学金のみを納入し、第2回入学手続期間内に入学金を除く学費等入学手続金を納入してください。

(2) インターネット出願サイトのマイページ内にある合格者ポータルページより各種手続を行ってください。詳細は、巻末の「入学手続の方法」をご参照ください。

(3) 入学手続期間内に入学手続を完了しない場合は、入学辞退として扱います。

第1回入学手続期間 ※入学金のみ納入	2023年11月1日(水)～11月10日(金)
第2回入学手続期間 ※入学金を除く学費等入学手続金の納入 及び入学手続書類の提出	2024年1月12日(金)～1月22日(月)

14. 入学手続金

- (1) 2024(令和6)年度入学生の入学手続金は下表のとおりです。
受託諸会費は現在未定のため、2023(令和5)年度の金額を記載しています。
- (2) 納入済の入学手続金のうち、入学金についてはいかなる理由があっても返還できません。
入学金を除く学費及び受託諸会費については、所定の手続きにより返還いたします。
返還手続きの詳細は、本学インターネット出願サイト内の合格者ポータルページで確認してください(1月中旬頃掲載予定)。
- (3) 入学後、ご事情により休学される場合は、休学在籍料として半期60,000円の納入が必要です。
- (4) 後期分学費は、入学後に納入していただきます。

2024(令和6)年度入学生 入学手続金

(単位:円)

		入学金	授業料	受託諸会費	合計	
システムデザイン工学部 (全学科共通)	入学時納入金	250,000	700,500	20,660	971,160	
	年額	250,000	1,401,000	20,660	1,671,660	
未来科学部	建築学科	入学時納入金	250,000	721,000	20,660	991,660
		年額	250,000	1,442,000	20,660	1,712,660
	情報メディア学科 ロボット・メカトロニクス学科	入学時納入金	250,000	700,500	20,660	971,160
		年額	250,000	1,401,000	20,660	1,671,660
工学部 (全学科共通)	入学時納入金	250,000	700,500	20,660	971,160	
	年額	250,000	1,401,000	20,660	1,671,660	
理工学部 (全学系共通)	入学時納入金	250,000	680,500	20,660	951,160	
	年額	250,000	1,361,000	20,660	1,631,660	

15. 第2年次以降の学費について

<参考>

第2年次以降の学費は下表のとおりですが、留年した場合は正規進級学年次の学費が適用されます。
学費は、前期・後期の年2回に分けて納入していただきます。

2024(令和6)年度入学生 第2年次以降の学費(年額)

(単位:円)

		年次	授業料	受託諸会費	合計
システムデザイン工学部 (全学科共通)		第2年次	1,425,000	未定	1,425,000 + 受託諸会費
		第3年次	1,479,000	未定	1,479,000 + 受託諸会費
		第4年次	1,503,000	未定	1,503,000 + 受託諸会費
未来科学部	建築学科	第2年次	1,466,000	未定	1,466,000 + 受託諸会費
		第3年次	1,520,000	未定	1,520,000 + 受託諸会費
		第4年次	1,544,000	未定	1,544,000 + 受託諸会費
	情報メディア学科 ロボット・メカトロニクス学科	第2年次	1,425,000	未定	1,425,000 + 受託諸会費
		第3年次	1,479,000	未定	1,479,000 + 受託諸会費
		第4年次	1,503,000	未定	1,503,000 + 受託諸会費
工学部 (全学科共通)		第2年次	1,425,000	未定	1,425,000 + 受託諸会費
		第3年次	1,479,000	未定	1,479,000 + 受託諸会費
		第4年次	1,503,000	未定	1,503,000 + 受託諸会費
理工学部 (全学系共通)		第2年次	1,385,000	未定	1,385,000 + 受託諸会費
		第3年次	1,439,000	未定	1,439,000 + 受託諸会費
		第4年次	1,463,000	未定	1,463,000 + 受託諸会費

16. 入学前教育の実施について

【システムデザイン工学部・未来科学部・工学部】

本学では、合格者(入学予定者)に対し、「入学前教育」を実施しています。DVD・Web 動画による講義、レポート課題の提出などによる学習指導を行う予定です。

なお、実施科目、教育方法は学科によって異なります。「入学前教育」の詳細は、合格発表後にご案内いたします。

【理工学部】

本学では、合格者(入学予定者)に対し、「入学前教育」を実施しています。実施科目は、数学、物理学、化学、英語の4科目を予定しております。

「入学前教育」の詳細は、合格者ポータルページ等にてご案内いたします。

17. 入学後に使用するパソコンについて

●本学では、各自がノートパソコン(理工学部では、入学する学系によってすぐに購入する必要があるかどうかは異なる)を保有し、勉学に活用する教育が行われます。

●準備していただくパソコンの機能及び性能、推奨機種等の詳細については、入学案内書類及び合格者ポータルページにてお知らせする予定です。

※入学後に、パソコン購入目的を対象とした大学独自の奨学制度(学生支援奨学金/貸与)が用意されています。

18. その他

(1) JABEEプログラムについて

技術者教育の分野では国際的な同等性を確保することが重要であり、本学では JABEE (Japan Accreditation Board for Engineering Education : 日本技術者教育認定機構) の認定を受けた教育プログラムを実施しています。JABEE プログラム修了者は、国際的に通用する技術者に必要な基礎教育を完了したものと見なされ、将来技術者として海外で働く場合にも有効な手助けとなります。

【工学部電気電子工学科JABEEプログラム】

- 電気電子工学科では、JABEE(日本技術者教育認定機構)認定技術者教育対応プログラムを実施し、必要要件を満たした場合はJABEEプログラム(電気・電子及び関連の工学分野)修了生とする予定です。
- JABEEプログラムを修了しますと、技術士(国家試験)の第一次試験が免除され「技術士補」の資格を得ることができ、専門技術者としての活躍の場が拡大します。

【理工学部理工学科建築・都市環境学系JABEEプログラム】

- 理工学部では2年次進級時に主コースと副コースを選択します。このうち、建築・都市環境学系の建築コースと都市環境コースのうち、いずれかを主コース、他方を副コースとして選択し、必要要件を満たした場合はJABEE教育プログラム(土木及び関連の工学分野)修了生とすることが可能です。詳細は、建築・都市環境学系(049-296-0307)に直接お問い合わせください。
- JABEEプログラムを修了しますと、技術士(国家試験)の第一次試験が免除され技術士補の資格を得ることができ、専門技術者としての活躍の場が拡大します。

(2) 個人情報の取扱い

- 出願及び入学手続で提出いただいた個人情報は、入学者選抜、合格発表、入学手続及びこれらに付随する事項、並びに統計的集計、高等学校等への情報提供(個人名は非公表)を行うために利用します。
- これらの業務の一部を、東京電機大学が指定した業者に委託することがあります。その場合、個人情報を委託業者に提供することがありますが、提供する情報は必要な範囲内に限定します。予めご了承ください。

(3) 国の教育ローン(日本政策金融公庫)制度について

本学に入学・在学する学生・保護者の方は日本政策金融公庫の「国の教育ローン」を申し込むことができます。「国の教育ローン」は、教育に必要な資金を融資する公的な制度です。

詳細は、下記日本政策金融公庫のホームページをご覧ください。教育ローンコールセンターに直接お問い合わせください。

日本政策金融公庫 教育ローンコールセンター

TEL:0570-008656 または 03-5321-8656(月～金 9:00～19:00)

日本政策金融公庫 国の教育ローン ホームページ

<https://www.jfc.go.jp/n/finance/search/ippan.html>

(4) 高等教育の修学支援新制度

本学は、文部科学省「高等教育の修学支援新制度」の対象校として認定されています。

本制度は、大学等における修学の支援に関する法律に基づき、経済的な理由で進学や修学を断念することがないよう、要件を満たした学生を対象に、授業料及び入学金の減免と給付型奨学金の支援を受けることができるものです。

原則、日本学生支援機構の給付型奨学金に採用となった方が、授業料等減免の対象者として認定されます。

給付型奨学金に採用された方は、入学後に各学部の担当窓口にて、給付型奨学金、入学金及び授業料減免の申請を行ってください。減免対象者として認定された後、減免相当額を還付(例年7月～8月頃予定)します。

また、本学では、給付型奨学金の採用候補者を対象として、入学手続きにおいて入学金を除いた授業料等の納入期限を猶予する対応も行っています。納入期限猶予の手続き方法については、本学ウェブサイト (<https://www.dendai.ac.jp/prospective-students/>)にてご確認ください。

(5) 日本国以外の国籍を有する方へ

日本国以外の国籍を有する者は、本学入学時に出入国管理および難民認定法に基づく本邦で活動するために必要とされる適切な在留資格を保有している必要がありますので、事前に必ずご確認ください。

(6) 身体障がい者等への特別支援と受験上の合理的配慮について

本学における特別支援(施設、設備、サポート体制他)の整備状況、ならびに特別支援ニーズへの対応可能範囲は、学科・学系での学びの分野やカリキュラムとも関係して、キャンパス及び学科・学系により異なります。受験方法や入学後の学修環境・支援において、ご本人様にとっての不利益を生じさせないために、出願に際しては事前に本学入試センターまでご相談ください。

(7) 選考会場

本学 Web ページにて案内しています。

<https://www.dendai.ac.jp/access/>

インターネット出願の手引き

出願は、この手引きに従って以下の手順で行ってください。

インターネット出願登録だけでは出願が完了しません。

必ず「志願票」および出願書類を郵送してください。

〔出願手順〕

- STEP 1 予め写真データを準備してください
- STEP 2 インターネット出願サイトで必要事項を登録してください
- STEP 3 入学検定料を納入してください
- STEP 4 出願書類を郵送してください
- STEP 5 出願が受理されるまでお待ちください
- STEP 6 受験票発行日に受験票を確認してください

■ インターネット出願における注意事項

- インターネット出願登録で不具合が起きた時は、必ず東京電機大学入試センターまでお問い合わせください。特に出願期間終了後は一切の対応ができかねますので、必ず出願期間内に余裕をもってご連絡ください。
- この手引きに掲載している画面の構成や内容は変更される場合があります。実際の画面の指示に従って操作してください。

STEP1 予め写真データを準備してください

インターネット出願登録の過程で、顔写真データをアップロードする手順があります。予め写真データを準備してください。

〔登録する写真データの要件〕

- ファイルサイズが 20MB 以下であること。
- ファイル形式は JPEG（拡張子「.jpg」「.jpeg」）もしくは PNG（拡張子「.png」）であること。
- 縦横の比率は任意です（インターネット出願登録の際に、画面上で確認しながら指定する比率に切り抜きます）。

〔注意点〕

- 出願 3 ヶ月以内に撮影したもので、上半身、正面、脱帽、背景は無地に限ります。
- 個人が特定しづらいもの、およびアプリ等で加工したものは受付できません。
- 学生服で撮影した写真はご遠慮ください。登録した写真は入学後に学生証にも使用します。
- 紙の写真は使用できません。また、紙の写真をスマートフォン等で撮影したものも使用できません。必ず本人を直接撮影してください。

〔適切な写真の例〕



- * 背景は無地（白、青、またはグレー）の壁をバックに撮影してください。
- * 壁に近づきすぎると影が濃く出て輪郭が分からなくなる恐れがあります。
- * 蛍光灯の下で撮影すると顔に影がかかってしまう恐れがあります。

〔適切でない写真の例〕 以下のような写真は受付できません。



背景や顔に影がある



枠からはみ出ている



小さく写っている



背景が無地でない／他の物が写り込んでいる



ぼやけている



髪で目元や顔の輪郭が隠れている



正面を向いていない



照明がメガネに反射して目元が鮮明でない

STEP2 インターネット出願サイトで必要事項を登録してください

インターネット出願サイトは出願開始日の **10:00** から出願登録ができるようになります。

STEP2- (1) 本学 Web サイトから、インターネット出願サイトにアクセスしてください。

出願期間中は、本学の Web サイトに「インターネット出願サイト」にリンクしたバナーを掲出します。本学の Web サイトで、出願する選抜の最新の情報を確認したうえでバナーをクリックして、「インターネット出願サイト」へ移動してください。

〔東京電機大学 受験生・高校生の方〕

<https://www.dendai.ac.jp/prospective-students/>



※バナーのデザインは変更される場合があります。

STEP2- (2) 画面の指示に従って必要事項を入力してください。

マイページを作成後、新規出願や出願履歴の確認等を行うことができます。また、出願登録及び入学検定料納入完了後には志願票や受験票の印刷、合格者ポータルページの参照等を行うことができます。



①出願登録開始
(マイページ登録)



②マイページ
(出願する選抜・学部・学科・学系を選択)



③出身校の登録
(※選抜種別によってはこの画面を利用しない場合もあります)



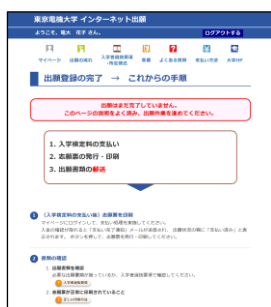
④個人情報等の登録



⑤写真の登録



⑥出願登録内容の確認



⑦登録完了画面
(まだ出願は完了していません)



⑧マイページに戻る
(STEP3 入学検定料の納入に進む)

※ 本学システムで扱うことができない漢字は、受験の際に使用することができません。

利用できない漢字を入力した場合は出願登録画面でエラーとなりますので、代替の漢字を使用してください。

※ 総合型選抜（はたらく学生）は入学検定料が免除されるため、このSTEP 3の手順は必要ありません。出願登録後すぐに志願票が印刷できるようになりますので、STEP 4に進んでください。

STEP3 入学検定料を納入してください

出願登録が完了したら、マイページに戻り、「出願登録を完了して支払う」ボタンを押してください。画面の指示に従って支払い方法を選択・確定し、各支払い方法に従って入学検定料を納入してください。



①マイページで「出願登録を完了して支払う」を押す



②支払い方法を選択する



④納入が完了すると「支払い済み」が表示され、志願票が出力できるようになる

③入学検定料を納入する

お支払い方法

コンビニエンスストア、クレジットカード、Pay-easy(ペイジー)のいずれかでお支払いください。

コンビニエンスストア

現金支払い

コンビニ設置のATMは利用できません。コンビニでは現金のみの取扱いとなります。

ローソン・ミニストップ LAWSON	ファミリーマート 	デイリーヤマザキ 	セイコーマート 	セブンイレブン
[Loppi]	[Famiポートまたはマルチコピー機]	[レジへ]	[レジへ]	[レジへ]
[各種番号をお持ちの方]を選択	[代金支払い]を選択	レジで「オンライン決済」を申し込む	レジで「インターネット支払い」と伝える	店員の方へ「インターネット支払い」をする旨を伝え、「払込票番号」を伝えます。発行した「払込票」を渡しても構いません。
[受付番号(6桁)]を入力し、[次へ]ボタンを押す	Famiポート: [各種番号をお持ちの方はこちら]	レジ画面で決済番号を入力	お客様側のレジ画面にて [受付番号] [確認番号]を入力	
お申込み時に登録した電話番号を入力し「次へ」を押す	マルチコピー機: [番号入力]	内容確認後、レジでお支払い	支払い内容の確認画面が表示	お支払い
内容確認後、「了解」ボタンを押す	Famiポート:[企業コード][注文番号] マルチコピー機:[第1番号][第2番号]		OKを押してお支払い	
端末から出力された申込券を持ってレジでお支払い	端末から出力された申込券を持ってレジでお支払い			

※支払方法、コンビニは変更になる場合があります。
※店頭端末機の画面デザイン等は、予告なく変更される場合があります。

金融機関ATM(ペイジー)

現金支払い/キャッシュカード

クレジットカード

ゆうちょ銀行・pay-easy対応ATMを利用	お客様番号・確認番号を入力						
[税金・各種料金(ペイジー)]を選択	支払い方法を選択(現金またはキャッシュカード)し、検定料を支払う	※現金取扱いの場合は、検定料の総額が10万円未満の場合のみ支払いが可能です。10万円を超える場合は、キャッシュカードを利用してください	VISA, Master, JCB, American Express, Diners				
収納機関番号を入力			※カードの名義人は受験生本人でなくとも構いません				

■注意事項

- 支払方法を確定すると、実際の入金の有無に関わらず出願内容の変更・取消し・修正はできなくなります。支払方法の確定をする前に必ず出願内容を再確認してください。
- ローソン・ミニストップ・セイコーマート支払いの場合は、マイページに入金情報が反映されて志願票が印刷できるようになるまでに最長で2時間程度を要する場合があります。この反映までの時間を理由とした出願期限の延長はいたしませんので、余裕をもって出願手続きを行ってください。
- 一度納入された入学検定料は返還しません。ただし、本学が定める入学検定料返還事由に該当し、所定の方法で行った申請が本学によって受理された場合のみ、入学検定料を返還します。詳細は以下の本学ホームページよりご確認ください。

[東京電機大学入学者選抜/大学院入試 入学検定料返還申請について]

https://www.dendai.ac.jp/about/admission/undergraduate/kenteiryuu_henkanshinsei.html



※ 出願書類を所属の学校・団体へ提出するよう指定されている選抜については、個人で郵送せずその指定に従ってください。

STEP4 出願書類を郵送してください

出願登録が完了し、入学検定料を納入すると、「志願票」が印刷できるようになります。



「志願票」と、出願に必要な書類（本要項内の「出願について」の項目を参照）を本学へ郵送してください。例えば出願登録を完了し入学検定料を納入していても、定められた期限までに「志願票」および出願書類一式を送付しないと出願となりません。

〔郵送方法〕

出願登録完了後、マイページより「志願票」と共に「宛名ラベル」を取得できますので、市販の**角型2号の封筒**に印刷した「宛名ラベル」を貼り、「志願票」および出願書類一式を入れて、必ず**郵便局の窓口より簡易書留・速達**で郵送してください。

STEP5 出願が受理されるまでお待ちください

出願状況は、マイページに表示されます（メール等での通知はいたしません）。出願状況が「受理」に変わるまで、最長で受験票発行日までかかります。ご自身で具体的な不備があったことに気付いた場合を除き、受験票発行日より前に受理状況をお問い合わせいただくことはご遠慮ください。

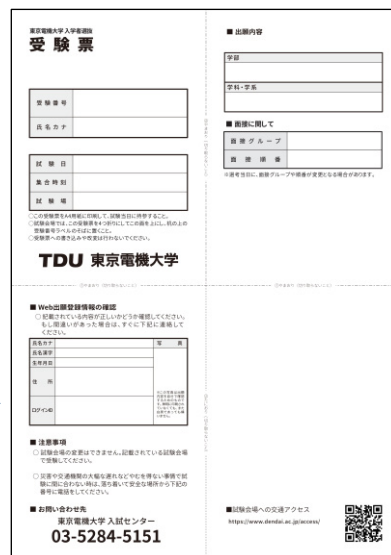
STEP6 受験票発行日に受験票を確認してください

受験票が発行されていない場合は受験できません。必ずマイページ上で受験票が発行されたことを確認してください。

- 受験票は、インターネット出願登録、検定料の納入、出願書類送付の全てを完了させ、本学で出願書類が受理された方のみ、受験票発行日の13:00以降にマイページからPDFファイルとして取得できるようになります。紙の受験票は発行しません。また、本学からハガキ等で受験票を郵送することはありません。
- 受験票発行日を過ぎてもマイページから受験票が取得できない場合は、必ず東京電機大学入試センターに電話で連絡をしてください。受験票が発行されていない場合は受験できません。
- 試験当日は、必ず**A4サイズ・タテ向き**で印刷した受験票を試験会場に持参してください。スマートフォンの画面提示等では受験できません。

〔受験票の取得方法〕

マイページから「受験票を表示する」のボタンを押して、受験票を取得してください。



合否照会の方法

合否発表は以下の方法で行います。

発表方法	合否発表日時	発表対象者
Web 合否照会 (マイページより)	合格発表日当日 13:00 ~	全志願者

- ① マイページにログインして、「合否照会」のボタンを押してください。
- ② 移動先のページの指示に従って、合否を確認してください。

※画面の構成は変わる場合があります。実際の画面に従って操作してください。

注意事項

- 合格発表は、志望した学科・学系の受験番号で発表します。
- 電話・メール等による合否結果についての問い合わせには一切応じられません。
- 表示内容の正確性には万全を期しておりますが、個々の閲覧環境が原因で表示に乱れがあっても、本来の合否結果が変更されることはありません。
- 合格通知書は送付されません。合格者ポータルページから電子ファイル（PDF）が取得できます（次頁の「入学手続の方法」を参照）。

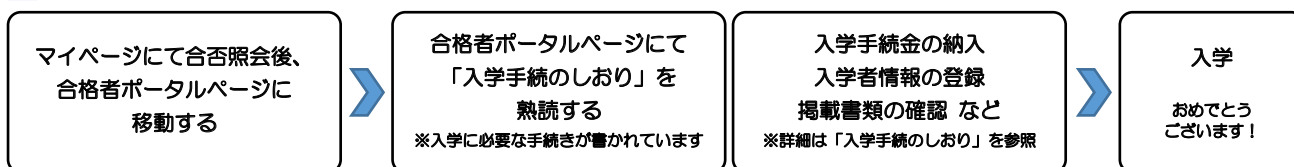
合否照会が続いて行うこと

- 入学の意思がある場合は、合否照会が続いて、定められた期限までに入学手続を行う必要があります。次頁の「入学手続の方法」に沿って手続きを行ってください。

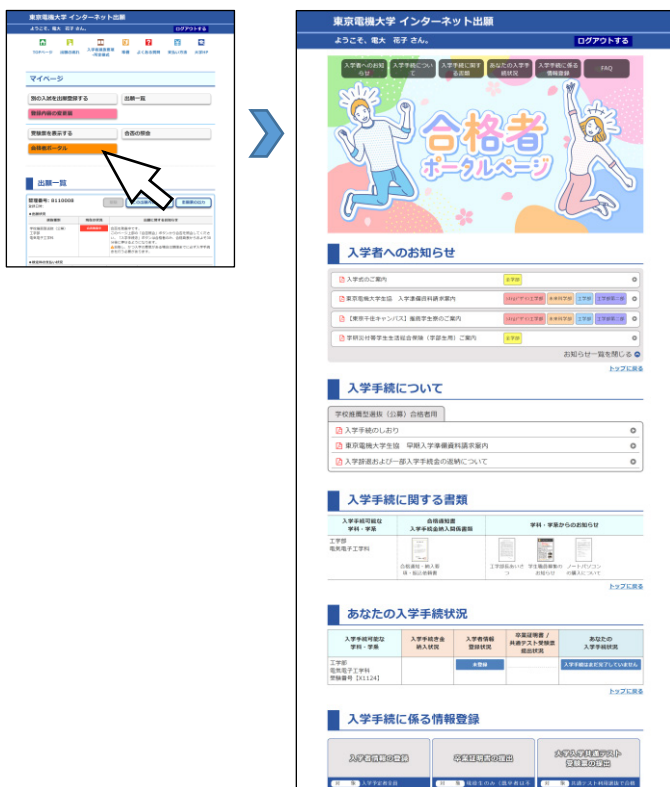
入学手続きの方法

入学手続きは、受験生自身で「合格者ポータル」ページ上での案内と掲載資料を確認のうえ、進めていただきます。期限までに手続きを行わない場合は入学辞退者として扱いますので十分に注意してください。

入学手続きの流れ



〔合格者ポータルへの移動方法と入学手続きについて〕



- ① 予めマイページにて合否照会を行ってください（前頁を参照）。
- ② 合格者ポータルページへの入り口ボタンは、合格者のみが、各選抜の合格発表後 30 分程度で押せるようになります。ボタンが押せるようになったら、合格者ポータルページに移動してください。
- ③ **まず最初に、合格者ポータルページに掲載されている「入学手続きのしおり」を熟読してください。入学に必要な具体的な手続きはすべてこれに記載されています。**
- ④ 「入学手続きのしおり」で説明されている、各種の書類（合格通知書、入学手続き金納入要項、入学手続き金振込用紙等）は、合格者ポータルページから電子ファイル（PDF）で取得できます。

※画面の構成は変わる場合があります。実際の画面に従って操作してください。

注意事項

- 合格者であるにも関わらず、合否発表後 30 分以上経っても合格者ポータルページに移動できない場合は、すぐに本学入試センターへ電話にてお問い合わせください。パソコンや出願サイトの不具合も含め、いかなる理由があっても手続き期間の延長はいたしません。お問い合わせは必ず手続き期間内に余裕をもって行ってください。
- 入学の意思がある場合は、必ず合格した選抜種別の入学手続き期間内に入学手続き金を納入してください。**入学手続き期間内に入学手続き金の納入を完了しない場合は、入学辞退者として扱います。**

TDU 東京電機大学

【お問い合わせ先】

東京電機大学 入試センター

〒120-8551 東京都足立区千住旭町 5 番

電 話： 03-5284-5151

F A X： 03-5284-5243

メール： nyushi@jim.dendai.ac.jp

<https://www.dendai.ac.jp/>